法面工

ソイルクリート工法

NETIS登録番号：(旧) CB-980023-VE

簡易吹付法枠協会

〒120-0043　東京都足立区千住宮元町13-13(千住MKビル)
TEL 03-5244-1323　FAX 03-5244-1322
URL https://www.kani-kyoukai.gr.jp　mail sekkei@nihon-shokusei.co.jp
[資料請求先] TEL.03-5244-1323、FAX.03-5244-1322、事務局長　田畑 一郎
[拠点] 北海道(支)札幌市(TEL.011-707-6201)、東北(支)仙台市(TEL.022-391-9805)、関東(支)横浜市(TEL.045-470-1514)、中部(支)名古屋市(TEL.052-773-4891)、近畿(支)大阪市(TEL.06-6388-8116)、中国(支)広島市(TEL.082-962-7331)、四国(支)高松市(TEL.087-832-8301)、九州(支)福岡市(TEL.092-526-0588)

施工完了

施工後4カ月

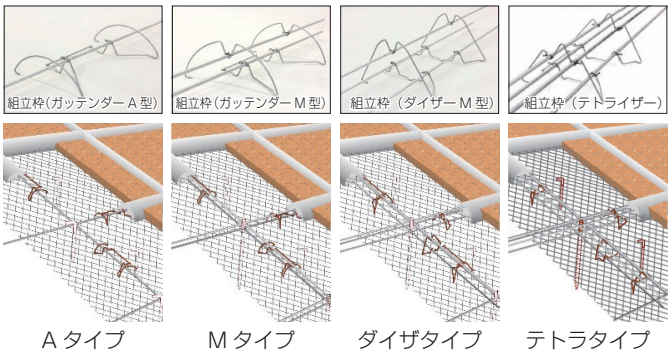
施工後1年5カ月

施工後6年7カ月

概　要

「ソイルクリート工法」は、断面形状および鉄筋の違いにより、Aタイプ、Mタイプ、ダイザタイプ、テトラタイプの4タイプがある。複雑な型枠に替えて簡易な組立枠（ガッテンダー、ダイザー、テトライザー）を設置、鉄筋を配した後、地山に直接モルタルを吹付けて法枠を形成し、枠内に植生基材を吹付ける緑化工法である。組立枠は、安価で施工が容易なため、大幅なコスト縮減と工期短縮を可能とした。吹付法枠と植生基材が一体となり、長期にわたり地山表層を含む生育基盤を安定させることができる。

全国各地での豊富な実績と数々の実証実験によって信頼を得ており、その結果、平成29年には「平成29年度準推奨技術(新技術活用システム検討会議(国土交通省))」に選定された。



Aタイプ　Mタイプ　ダイザタイプ　テトラタイプ

特　長

1．ガッテンダー、ダイザーおよびテトライザーを組立枠として用いることにより、鉄筋が適正な位置に保持され、かつ正確な断面形状が確保できる。
2．吹付モルタルに補強材としてNAF-6（アラミド繊維）を混入することにより、法枠の整形性が向上するとともに、クラックの発生を抑制できる。
3．実物大の梁で載荷実験を行い、枠の曲げ剛性および安全性を検証していることから、(一社)全国特定法面保護協会発行「法枠工の設計・施工指針」に準じて、抑制工として設計が可能である。
4．枠形状に丸みがあるため、矩形断面の吹付枠工と比較して、植物の生育によって枠が隠れやすい。

併用工の種類

1．ソイルクリート工法　テトラタイプR
枠形状はテトラタイプを基本とし、交点部材(ナジームテーブル）を使用することにより、鉄筋挿入工との併用が可能である。

2．サーフクリート工法
ソイルクリート工法の枠内に勾配緩和網を設置し、植生基材吹付を行うことにより、1：0.3まで急勾配法面の緑化を可能とした。

3．ソイルクリート工法　カーボンタイプ
鉄筋に代えてカーボンロッドを用いた、長寿命型のソイルクリート工法。従来のソイルクリート工法の優れた施工性を維持しつつ、法枠の強度と耐久性が向上した。新素材を用いた新時代の工法。

工事名：道路改築事業（国道・連携）四戸法面工（分割7号）
施工主体：群馬県上信自動車道建設事務所
工種：ソイルクリート工　M-1500
(写真提供：簡易吹付法枠協会 令和4年度写真コンテスト 会長賞作品)